

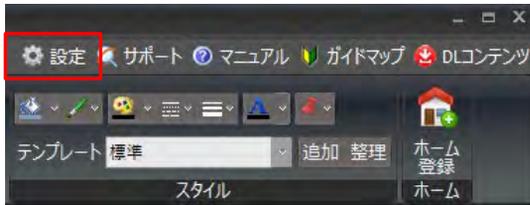
スーパーマップル・デジタル

「設定」で操作&表示を快適に

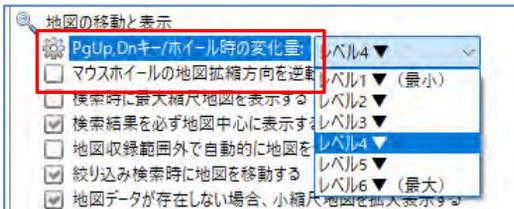
A [操作方法などを設定する]

① 画面右上の [設定] をクリックし、操作に関する [地図・その他] を選択します。

※ [設定] 内の「赤枠」を対象に記載します。



② [地図の移動と表示] で「拡大、縮小」の操作を、好みの設定にします。



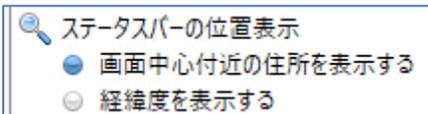
【PgUp, Dnキー/ホイール時の変化量】

- 地図の拡大縮尺の幅を設定します
レベル1だと、詳細/小域図で「500分の1」の拡張
レベル6だと、詳細/小域図で「15,000分の1」の拡張
※表示している縮尺により、若干の拡張の幅が違います。

【マウスホイールの地図拡張方向を逆転する】

- 初期値は、ホイールを上側(前)に回すと縮小、下側(手前)に回すと拡大
※好みにより、をすると逆になります。

③ [ステータスバーの位置表示] で「地図の位置」の表示方法を「住所」または「経緯度」にするかを設定にします。

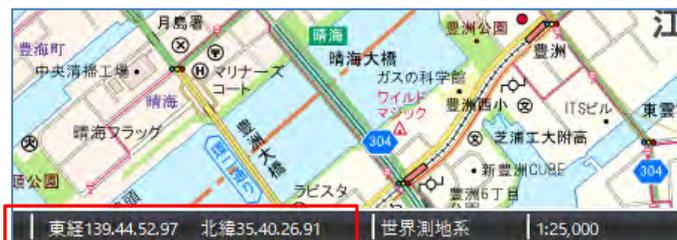


【画面中心付近の住所を表示する】

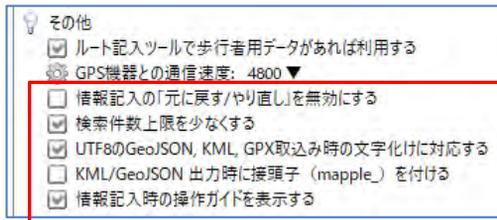


【経緯度を表示する】

※経緯度の場合は地図上のマウス位置を表示



④ 「その他」は、操作上でチョットした課題に関することです。

**【情報記入の「元に戻す/やり直し」を無効にする】**

- 数千件のカスタム情報を同時に操作する場合、環境によって、ソフトの動作が重くなる場合があります。一時的に「元に戻す/やり直し」を無効にすると、操作が快適になります。
- ※ただし、「元に戻す」コマンドと「やり直し」コマンドが利用できなくなるのでご注意ください。

【検索件数を少なくする】

- 初期値はチェックされており、検索結果件数が最大300件に限定されています。チェックを外すことで検索結果件数を最大3000件に増やすことができます。
- ※通常はチェックを入れたままをお勧めします。

【UTF8のGeoJSON, KML, などの文字化けに対応する】

- UTF-8形式ではハイフンなど日本語環境では似たように見える文字コードがいくつも存在するため、文字によっては取込時にエラーとなる場合があります。そのため似た文字を正しく取り込めるように置き換える場合、このチェックをONにします。
- ※取り込むデータによっては処理時間が従来よりも大幅に長くなる場合があります。また、すべてを解消するものではありません。

【KML/GeoJSON出力時に接頭子 (mapple) を付ける】

- テキストデータをKML/GeoJSONでの出力時に、スーパーマップル・デジタルで出力したものかを判断するためのものです。標準では、OFFになっております。

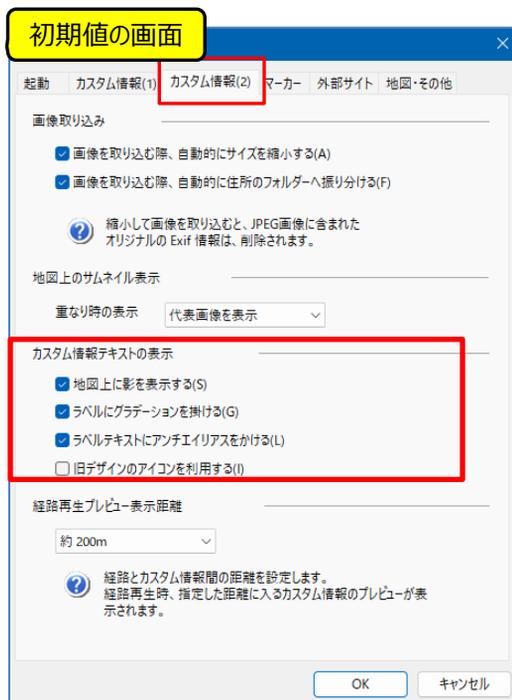
【情報記入時の操作ガイドを表示する】

- 選択ツールや図形記入ツールを選択したとき、地図画面左下に操作ガイドが表示されます。地図情報が閲覧しにくくなる場合があるので、その場合にチェックを外してOFFにしてください。



B [情報の表示方法を設定する]

- ① [設定] の表示に関する [カスタム情報(2)] を選択し [カスタム情報テキストの表示] で任意に設定します。
 ※ [設定] 内の「赤枠」を対象に記載します。



- ② 「旧デザインのアイコンを利用する」では、スーパーマップル・デジタル26以前のアイコンを利用して、「V26」でもデータ作成ができます。
 ※これまで使用してきた「アイコン」と共通できます。



注意事項
 製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

以上